

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名		ラジオ体操による市民の健康づくり事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	2	福祉の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	北里 利朗	
	施策	5	健康づくりの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	緒田 友一	
	施策の柱	19	病気になる生活習慣の確立				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1518	
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番11641	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 27 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				
								成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ⑪			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	「健康都市こうし」としての取組として「ラジオ体操による市民の健康づくり」を実施する。 子どもから高齢者まで幅広い世代で手軽に取り組むことができ、各世代に認知度が高く、継続性、市民のコミュニティ活性化も期待できる。
【業務の流れ】	・ラジオ体操の現状を把握し、ラジオ体操指導員として世話人となる熱意ある人の募集を行い、講習会受講し養成を図る。 ・学校・企業・市民へ啓発を図る。 ・各地区へ担当職員を配置しラジオ体操への取組について事業の必要性を示す等実施の依頼を行う。 ・市役所でも職員が率先的に取組を行う。
【主な予算費目】	・(指導者講習会) 負担金・謝金・旅費 ・(普及促進・運営事業費) 負担金(指導員認定費)
【意見や要望】	市民より健康づくりとして「ラジオ体操実施」の提案があっている。現在、各地区で自主的に毎朝ラジオ体操を実施しているグループが数箇所あり、実施することにより「笑顔で挨拶すると気持ちが晴れ晴れする」など前進的な意見が続出しているとの意見が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・ラジオ体操で市民の健康づくりに取り組む		市職員による各地区への普及推進
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア ラジオ体操指導者講習会の参加者数	人	平成27年度開始事業で、人件費、消耗品費等初期費用の減。
イ ラジオ体操に取組行政区数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ ア 参加した人数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
健全な生活習慣を身につける		→ ア 自主的に活動を行い始めた団体の数
		→ イ
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 人			16	20	0	20	20	20	20
	イ 箇所			45	60	55	70	75	80	80
② 対象指標	ア 人			1,092	1,200	1,845	1,400	1,500	1,600	1,700
	イ 箇所									
③ 成果指標	ア 箇所			45	60	55	70	75	80	80
	イ									
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		1,391	1,789	455	330	500	500
	(A) 事業費計		千円		1,391	1,789	455	330	500	500
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0
			千円		0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人		4	4	5	4	4	4
		延べ業務時間	時間		270	270	190	270	270	270
	(B) 人件費計		千円		1,002	1,075	0	1,075	1,075	1,075
トータルコスト(A)+(B)			千円		2,393	2,864	455	1,405	1,575	1,575

事務事業名	ラジオ体操による市民の健康づくり事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☐達成した ☒達成しなかった ⇒【理由】 熊本地震の影響で事業拡大につなげることができなかった。
	②29年度目標達成見込み	☒目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 市職員が各地区へ出向き、引き続き理解を得る対応をとることで、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	☒向上余地がある ⇒【理由】 ☐向上余地がない ⇒【理由】 引き続きの対応をとることで、向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒他に手段がない ⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市民が自発的に行動する健康づくり事業で、他に類似の事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒削減余地がある ⇒【理由】 ☐削減余地がない ⇒【理由】 市職員を地区ごとに担当として割り当てており、地区ごとで自発的に展開が広まれば、人件費が削減できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒削減余地がある ⇒【理由】 ☐削減余地がない ⇒【理由】 事業が浸透することで、職員の対応が削減できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒役割分担は適正である ⇒【理由】 市民の自発的な活動が増えれば、市民に任せることができる。

3 評価結果の総括（CHECK）

初年度である平成27年度は、多くの市民に参加してもらっている。平成28年度は、更に多くの市民に参加してもらえるよう、地区ごとの状況に合わせた対応が必要となる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☒事業のやり方改善（有効性改善）
☐事業のやり方改善（効率性改善）
☐事業のやり方改善（公平性改善）
☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

地区ごとの状況に応じた担当職員の対応が必要である。

(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

合志市